



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

# 学校便り Respect



令和3年10月5日

No. 7

令和3年度 10月朝礼あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、おはようございます。

さる9月24日の朝、SDGs集会が行われました。映像を見ながら皆さんは、SDGsは、なぜ大切なのかということをお勉強しました。先生も皆さんにSDGsについてお話をするために勉強している中で、1つの衝撃的な言葉に出会いました。それ以降、いつも心のどこかにこの言葉が引っかかっています。その言葉とは、

**「われわれは、(中略)地球を救う機会を持つ最後の世代にもなるかも知れない。」**

( We may be the last to have a chance of saving the planet. )

というものです。この言葉は、SDGsの17の目標は、なぜ、今、必要なかを説明した宣言の中にあります。

今、世界は、どうなっていますか?新型コロナウイルスで苦しんでいます。多くの国が、異常気象による、暴風雨、洪水、土砂崩れ、熱波、海面上昇、山火事などで莫大な被害を被っています。これらはすべて、地球が出しているSOSではないでしょうか。

SDGsは、10年後の2030年をゴールの年と定め、世界中で取り組んでいます。

「地球の運命は、この10年間にかかっています。あなたは、何をやりますか?」

これが、SDGsが皆さんに問いかけていることなのです。

さて、ここで皆さんに映像を見てもらいます。3分ほどで、言葉はあまり入っていませんが、見れば内容は分かると思います。アフリカのエチオピアという国に住む、13歳のアイシャという女の子の1日を朝から夜まで撮影したものです。ここで、皆さんにお願いしたいことがあります。ただ何となく見るのではなく、自分は、この女の子のために何をしてあげることができるのかを考えながら見てください。

## 【映像鑑賞】『13歳のアイシャの1日～水を得るために』

これが、アイシャさんの1日です。皆さんは、アイシャさんのために何をしてあげることができますか?

【 直接的にできること(例) 】

- 水道をひく
- 井戸を掘る
- 引っ越しをさせてあげる
- 勉強を教える

【 間接的にできること(例) 】

- 募金をする
- ものを贈る(自転車、教科書、文房具・・・)
- 電気をむだにしない
- 資源を大切にする(リサイクルなど)

なかなか、すぐにはできないこともあります。やろうと思えばすぐにもできることもあります。“電気をむだにしない” “資源を大切にする” は、アイシャさんが今利用している川の水が、地球温暖化のために枯れてなくならないようにするためです。もしこの川の水がなくなれば、彼女は、もっと遠くまで今以上の時間をかけて水を運ばなければなりません。

現在、アイシャさんのように学校に通えない女の子が、世界で1億3200万人くらいいるといわれます。その原因は様々ですが、生まれた場所や性別で、勉強する権利を奪われることは、本人にとっても世界にとっても大きなマイナスです。SDGsでは、この問題を解決するため、



などの目標を掲げています。実は、私が最初に紹介した言葉の前には、次の1文が書かれています。

**「われわれは、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。」**

( We can be the first generation to succeed in ending poverty. )

◎ 保護者の皆様へ

- 1 先日、ご連絡を差し上げましたように、現時点では教育省の指示によりオンライン授業が継続となっております。登校再開の明確な日時は示されておられません。ロックダウンが第4段階になった段階で登校を再開するという方針は、提示されましたが、今後の感染状況やワクチンの接種率で、変更の可能性もございます。学校としましては、教育省と連携を取りながら情報収集に努めてまいります。学校行事等も、登校再開時に教育省から提示される SOP をもとに、検討してまいります。今後、何か変更があるばあいは速やかにメール等でご連絡いたします。
- 2 来る、10月20日(水)6校時は、全教員を対象とした校内研修会を実施いたします。今回は、1つの学級の授業を全教員が参観し、参観後、その指導法に関して協議を行う形式となっております。従いまして、該当の中学部2年以外の学級は、5時間授業とさせていただきます。教員の資質向上のための取り組みということで、ご理解を頂ければ幸いです。
- 3 次回の教材配布・回収は、10月8日(金)16:30に、いつもと同じ場所で行います。